

藤塚米島線が開通。 手に入れたのは“安心”と“友情”

平成25年に全線開通した
藤塚米島線を通じて自転車通学する
埼玉県立庄和高等学校の皆さん。
新しい道への思いを聞いた。



「おはよう！」

「おはようございます」

朝のはなみずき橋の上を元気な声が渡っていく。藤塚米島線を通じて通学する、埼玉県立庄和高等学校の生徒たちだ。全校生徒約600人のほとんどが自転車で通学している。

春日部駅方面からも、30分以上かけて通学する生徒が少なくない。

同校の井上一也教頭は、

「今、自転車の事故が多いといわれています。しかも、自転車は車道を走るのが基本ルール。安全な道ができたらと思っています」

先生方の願いを叶えるかのように生まれたのが、平成25年に開通した都市計画道路藤塚米島線だ。

春日部駅周辺と南桜井駅周辺の2つの市街地を結ぶ全長2180mの幹線道路。歩道と並行して自転車道も整備され、人と自転車が安心して通れるようになった。

かつては、国道16号などほかの道を通じて春日部駅方面から通学していた生徒たちも、開通以来、藤塚米島線を使用するようになった。「すごく便利で安全になった」と口を揃える。

上蛭田に住む宮田ななみさん（3年生）は、普段は電車を利用しているが、晴れた日は藤塚米島線を走るために自転車通学に切り替える。

「新しい道だから、走っていて気持ちいいんです！」

同じく上蛭田在住の佐藤龍「さん（3年生）は、以前は国道沿いを通学路に使っ



歩行者と自転車が安心・安全に通行できる歩道と自転車道。

写真左から
 宮田ななみさん 春日部在住歴15年
 佐藤龍己さん 春日部在住歴12年
 藤井茉奈さん 春日部在住歴2年
 加藤諒汰さん 春日部在住歴10年



kasukabe PROJECT:02 藤塚米島線全線開通

平成25年5月11日、合併公約の重点項目である「都市計画道路 藤塚米島線」が全線開通。春日部駅周辺と南桜井駅周辺の2つの市街地を結ぶ幹線道路で、この開通によって国道16号から国道4号バイパス、そして南桜井駅南口付近まで1本の道路でつながった。自転車道の整備や、太陽光パネルを利用したLED照明灯など、安全性や地域の利便性の向上が図られた。

ていた。

「藤塚米島線はトラックがあまり通らないので、排気ガスが少なく、空気がきれいいところがいいですね」

大沼から自転車通学をしている藤井茉奈さん(2年生)は、

「自転車と人が通る道が分かれているから安全に走れます。イベントの前など、生徒会の活動で学校を出るのが夜8時になることもあります。そんなときも、道が明るいし、人の目も結構あるので安心できます」

藤塚米島線は夜になると、太陽光パネルを利用したLED照明灯が点灯する。道の明るさが確保されているのだ。

安全な道のおかげで 行動範囲も広がった

藤塚米島線ができてよかった点は、安全性や利便性だけではない。

「車道をはなれることができなくなり、安全な道だから、帰り道が同じクラスメイトと仲よくなりました(宮田さん)」

加藤諒汰さん(2年生)は、栄町在住。通学で利用する機会は少ないが、休日などによく使う。

「藤塚米島線ができてからは、庄和のほうへよく遊びに行くようになって、行動範囲が広がりました」

「越谷方面の友人も遊びにきてくれるようになって、友情が深まりました(藤井さん)」

新しくなった道路は、生徒たちの高校生活に「安心」や「友情」という大きな幸せをもたらしたようだ。